

## 6. 電池の交換

電源切換スイッチをBATに回すと、メータは電圧計となり電池の電圧を示します。目盛の赤線より右なら良、左なら不良です。このときは裏蓋を開いて新しい電池と交換します。

## 7. 素地合せについて

- (1) 塗装の下地となっている金属素地はその種類、形状によって電気的特性が異なりますから、正しい測定のためには、測定物の金属素地と同種、同形の金属板をゼロ板即ちゼロ調整の基準として用います。
- (2) 凹凸面、曲面、異形のものについては特に同一性の保持に御注意下さい。

## 保 守 記 録

| 年月日 | 記 事 |
|-----|-----|
|     |     |
|     |     |
|     |     |
|     |     |
|     |     |
|     |     |
|     |     |
|     |     |
|     |     |
|     |     |

## 営 業 品 目

膜 厚 計、ピンホール探知器  
結露計、粘度計、水分計  
検針器、鉄片探知器

## 株式会社 サンコウ電子研究所

本 社 〒113 川崎市長津区久米1877  
TEL (044) 751-7121 FAX (044) 755-3212  
東京営業所 〒101 東京都千代田区内地田2-6-4 栄田ビル  
TEL (03) 3254-5031 FAX (03) 3254-5038  
大阪営業所 〒530 大阪市北区豊崎町2-1 小海ビル  
TEL (06) 8362-7805 FAX (06) 8385-7381  
名古屋営業所 〒462 名古屋市中区金鐘9-11-27 名金ビル  
TEL (052) 913-2658 FAX (052) 915-7218  
福岡営業所 〒812 福岡市博多区赤坂1-11-11  
TEL (092) 382-8831 FAX (092) 382-8832

# SANKO

## サンコウ渦電流式膜厚計

### EL-1C

—使い方—



株式会社サンコウ電子研究所

## 仕様

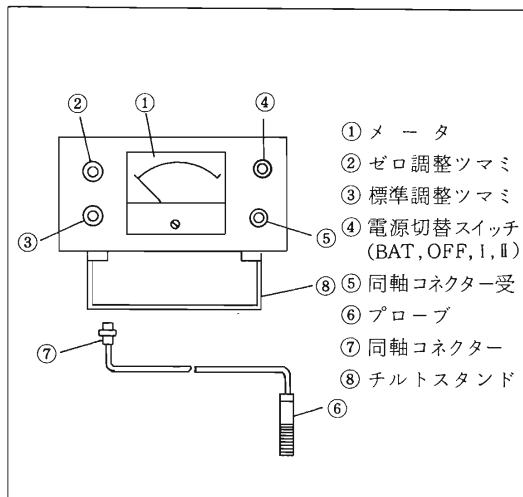
|              | 標準仕様   | 特注仕様<br>(変更部分のみ) |
|--------------|--|------------------|
| 型式名          | EL-1C  | EL-1C-EX         |
| 測定方式         | 高周波渦電流式  |                  |
| 測定範囲<br>(目盛) | 上段 0~500 $\mu\text{m}$<br>下段 0~100 $\mu\text{m}$ |                  |
| 電源           | 単三乾電池8本  |                  |
| プローブ         | 一点定圧接触式<br>14 $\phi$ ×60 mm                      |                  |
| 標準厚板         | 2枚   |                  |
| 寸法重量         | 200×90×140 mm<br>2 kg                            |                  |
| 付属品          | 携帯用ケース   |                  |

## 原理

サンコウ渦電流式膜厚計は、高周波電界によって金属表面に誘起される渦電流の大きさと、表面皮膜の厚さとの間の電気的相関性を利用して、鉄以外の金属素地に表面処理された絶縁性皮膜の厚さを、簡単に、迅速に、正確に、しかも非破壊で測定する計測器です。

## 用途

鉄以外の金属（アルミ、銅など）または磁性のないステンレスの表面に処理された絶縁性皮膜（塗装、ライニング、アルマイト層など）の膜厚の測定。



## 使い方

- 準備** プローブ⑥を本体に接続し、電源切替スイッチ④をⅠ又はⅡに回し、回路の安定するまで数分待ちます。
- 調整**
  - 上段目盛Ⅰ使用の時**  
電源切替スイッチをⅠに回します。
    - ゼロ調整（素地合せ第7項参照）  
測定物の素地金属と同じ金属板を用意し、その金属板にプローブを押し当て、ゼロ調整ツマミ②を廻して、メータ①左端の0線に指針を合わせます。

注1. 目盛左端の数値が0でない時  
上記の場合、目盛左端の数値に相当する標準厚板が付属していますから、それを金属板の上におき、その上からプローブを押し当て、指針を目盛左端に合わせます。

- 標準調整**  
次に同じ金属板の上に付属の標準板をのせ、その上からプローブを押し当て、標準調整ツマミ（STD）③を廻して標準厚板に表示されている数値と同じ目盛の所に合わせます。
- ② 下段目盛Ⅱ使用の時**  
電源切替スイッチをⅡに回します。
- ゼロ調整  
④の(1)と同じです。
  - 標準調整  
④の(2)と同じ要領で合せます。
- 上記の調整を繰り返して正しく合わせます。
  - 測定**  
以上の調整が完了すれば、直ちに測定可能です。測定物の上にプローブを押し当て、指針の振れを読みとれば、それが皮膜の厚さを示します。
  - 測定終了後は必ず電源切替スイッチをOFFに戻します。